

『今、浦学にできること』 in Cambodia

カンボジア浦和学院スクールプロジェクト vol.6

ប្រទេសកម្ពុជា អន្តរជាតិ សាលា គំរោងការ

— 国際教養の推進 —



Urawa Gakuin High School Formal Homepage Topics

交流編

あなたは、遠い昔…子どもだった頃の 夢や希望を今も持ち続けていますか？

カンボジアの地で、出逢った多くの子供たちは、将来への“夢”や“希望”に満ちあふれたきらきらと輝く凜とした瞳で私たちを明るく迎えてくれました。物の豊かさと引き換えに卑しさが蔓延っている日本と違い、彼らは、貧しいけれども卑しくなく、生きるための環境への順応力や感謝できる心、規範が備わっていました。またその瞳の輝きは、私たちが子供だった頃に持っていた夢や希望を想い起こさせるものでした。日本の国から夢や希望が喪失したと感ずるようになってから久しくなりますが、それは私たち自身が様々な理由で情熱や使命感を稀釈させているからではないでしょうか。

私たちは、多くの仲間たちとともにこの活動を通じて、両国の子供たちの未来を信じ、大きなものに全てを委ねる他力本願から自らの意志で一步一步、勇気を持って挑戦し、情熱をもって夢や希望をかたちに変えてゆきたいと思います。

(共生フォーラム ホームページより引用)



そして、本学園もそのような趣旨に賛同し、

学校法人明星学園の会長理事を務める神成裕（かなりゆたか）が、会長を務める特定非営利活動法人「共生フォーラム」では、次のような考えから、カンボジアとの交流を深めています。本学園の神成会長理事は、この活動を5年間推進する中で、現地に小学校1校、中学校2校を建設し、さらに職業訓練校や病院の建設に着手しています。そのような活動は、このたび来日したシン・ナム国会議員との信頼関係から育まれています。

その活動を学校法人明星学園（浦和学院高等学校・浦和学院専門学校・明星幼稚園）においても、「多様性に触れる国際教養の浦学」に相応しい活動として、応援しています。浦和学院高校にて掲げられているスローガン「頑張る仲間をみんなで応援!!」は、生徒一人ひとりに国際教養を身につけると同時に、ライフスキル教育を推進するうえでも、図り知れない教育効果が生まれています。既に浦和学院高校では、計5回のカンボジア交流活動スクールプロジェクト参加し、教職員10名が研修のために現地に赴いています。



副理事長 仙波 邦博



理事長・校長 小沢 友紀雄



会長理事 神成 裕

※4月12日に行われた共生フォーラム主催の「来日歓迎会」にて挨拶する本学園の理事

校長の小沢は、生徒・教職員に対して次のように話しています。

「先週、カンボジアの国会議員シン・ナム議員が来校された際、先生方、生徒たちみんなが協力してくれて、素晴らしい対応をしてくれた。吹奏楽部のカンボジア国家の演奏、コーラス部、書道部、箏曲部、ソングリーダー部、各部活動のパフォーマンスどれも素晴らしいものだった。そして最後に、シン・ナム議員からグローバルコースと特進コースの生徒への講演、その際、一人の生徒の質問をきっかけに、シン・ナム議員からは、生徒5人をカンボジアに招待すると言っていた。カンボジアに来て自分の目で見て日本と何が違うか感じて欲しいとのことだった。カンボジアに行き、現地をみて、何を感じ、何を考えるか、とても大切なことである。畠山先生が、被災地を見ることの大切さを教えてくれているが、同じことである。東日本大震災は、天災（一部人災）、カンボジアはボルボトによる人災である。カンボジアで、何を感じ、何を考え、何を行動するか、そしてその体験は大変な教育効果をもたらすと思っている。部長の先生方は、若い先生、生徒たちに国際的多様性に触れることの大切さを教えてもらいたい。」

